



麻布幼稚園だより

令和3年9月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。例年とは違う状況の中、各ご家庭でのご苦労や工夫があったことと思います。夏季休業中の幼稚園では、主事が園内の環境整備やワックスがけを行い、教員は教材等の整備や研修をするなどしてきました。休みもとり心身を充実させています。

今年度より配置された「地域コーディネーター」の呼び掛けにより、地域や修了児保護者の皆さまが「夏季休業中の水遣り」に協力をしてくださいました。暑い日が続きましたが、園内の植物は枯れることなく元気です。年長児が種蒔きをした屋上のコスモスも咲き、秋の訪れを感じさせてくれています。快く引き受けてくださった皆様に感謝いたします。

子供たちが、ぐんと成長をする充実の2学期の始まりです。子供たちの「何だろう」「おもしろそう」「どうしてかな」という興味や関心、「やってみよう」「もう一回」という意欲、「楽しかった」「できたよ」の満足感や充実感が味わえるように、教師は幼児の実態に合った環境を準備し支えています。

緊急事態宣言が依然継続する中での2学期のスタートとなりました。子供たちの感染が増えていることは大変心配な状況です。港区の小・中学校では、学校で授業を受けることとオンラインで授業をうけることを選択できるようにしました。年間指導計画の変更が不可能かつオンラインでの対応ができないものについては、3密を避けて分散して実施するなどの感染症対策を講じた上で実施をします。幼稚園については、昼食なしの午前保育としています。

幼児期の教育は、幼児が身近な環境に関わり自発的な活動としての遊ぶことを通して行われます。オンラインでの対応ができないものにあたりますので、昼食なしの午前保育にすることにより安全性を高め、教育活動を実施していきます。

幼稚園で感染を広げないためには、第一に感染を幼稚園に持ち込まないことが重要です。教職員のワクチン接種はほぼ完了をしていますが、引き続き不織布のマスクの着用、検温、手洗いと消毒、自身と家族を含めた体調の管理を徹底していきます。ご家庭におかれましては、同居するご家族全員の感染予防と幼児や同居する方の体調不良時の早めの対応をお願いいたします。

第二に、感染者が認められた場合にも、感染症対策を徹底しておくことで感染が広がらないようにすることが必要です。園内はエアコンを使用しながら、保育室のドアや窓を原則開放し換気を徹底して行います。子供たちにはマスクの着用を促し、手洗い・消毒が着実に実行されるようにします。また、遊びの場の工夫、学級活動時の環境を工夫します。

保護者の園舎内への立入りの制限、行事や保護者会等実施方法の変更や工夫などについては、必要に応じてお伝えをしていきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

「知者は惑わず 仁者は憂えず 勇者は懼れず」正しい情報や新たな情報を得ながら迷わず、どんな時にも相手を思いやる心を持ち落ち着き、必要なことはしっかりと実行する。新型コロナウイルス感染症の流行が長引く中だからこそ、子供たちの遊びや生活、学びを保障していかなければなりません。子供たちのため、必要な対策をしっかりと行い、「子供も大人も 出合う 関わる 笑顔あふれる幼稚園」麻布幼稚園の2学期をスタートいたします。